

石炭火発に終止符

東電から12億円の寄付金で合意

日本共産党など
使途指定に異議

1月19日、市議会全員協議会が開催され、この間の火力発電所問題の経過と結果について市長などから報告がありました。

それによると、東電が昨年4月に火発立地を断念して以来、火発特別委員会および同委員会から取扱いについて一

任を受けた市長は、東電と約20回にわたる交渉をおこない、今後の地域振興に資する事業への協力金として12億円の寄付を受けることで合意しました。これにより30数年にわたって本市を揺るがしてきた東電の火発問題は終止符が打たれることになりました。



中郷町石岡地区で出会った水戸大神楽。傘の上でマリをまわす曲芸を披露するのは三代目・柳貴家正楽師匠のお孫さん、6歳。

この12億円の寄付金については、市民病院建設基金に6億円、ふるさと振興基金に6億円（内訳はブルーツーリズムに3億円、環境整備事業に2億円、雨情の里港まつりに1億円）と、使途についても合意されています。

報告を受けて、日本共産党市の福田明議員は「使途まで決めて合意するとは納得できない。寄付金の使途については、議員や市民の意向を聞いたうえで市の自由裁量で決めるべ

きである」と発言しました。また、他の議員からも、合意する以前に、会議を開いて議員に相談すべきではなかったか「30数年の苦労を想えば12億円程度で合意すべきではない。合意を白紙撤回して、引き続き交渉すべき」等々の意見が出されました。

なお、12億円について市長は「平成17年度に一括して受け取れるよう東電に要請したい」と述べました。

予防接種 対策協議会 開催

1月20日、保健センターにおいて、予防接種対策協議会が開かれました。今年度の接種事業はおおむね順調に進んでいることが報告されました。

来年度の事業計画では、三種混合、風疹、麻疹が個別接種の形に移行されます。これまでにいたいの予防接種が集団接種から個別になり、それぞれ子どもたちの体調や事情によって、接種の日時と医療機関を

「北茨城民報」はインターネットでもご覧いただけます。
<http://www.jcp-ktib.com/>

ご相談はお気軽に



市議会議員
鈴木やす子
☎42-2462



市議会議員
福田 明
☎43-0468

記事の一部訂正について

先週発行の本紙1月16日号で下水道料金に関する建設委員会の付帯事項を、今後、使用料金の見直しを含めて検討する」と報じましたが、正確には「料金の改正につながるような経営努力をする」というものです。訂正します。

2便運行されてきた路線です。資料によれば、1便平均6名ぐらいの利用者しかなく、採算がとれない。五浦の旅館・民宿と連携してセット乗車券を発売したりしたが、これも芳しくなかったと廃止の理由を説明しています。

北茨城、東京 高速バス廃止 事業者より報告

北茨城～東京間の高速バスを3月31日をもって廃止したいとの申し出が事業者よりあ

ったことが市議会全員協議会で報告されました。
2000年4月より1往復